

令和2年度 事業報告書

本公益財団は、その目的を達成するために本年度においては、次の事業を行った。

【国際的学術研究・情報発信事業】(公1)

I. 調査研究等

新型コロナのため実施せず。

II. 講演会の開催等

- ・一般社会人を対象とする公開学術講演会の実施(年1回)。

国内外の研究者を招いて、次のとおりシンポジウムを開催した。

(1) 京都大学経済研究所シンポジウム

「持続可能な社会のための政策デザイン～気候変動政策とエネルギー
転換～」

日 時 令和2年11月28日(土) 14:00～17:30

場 所 京都大学経済研究所会議室 (YouTube ライブによる放映)

III. 研究成果の公開等

- ・研究成果の発表及び刊行

特になし。

- ・研究成果の刊行・著書の購入・配布。

特になし。

IV. 図書及び資料の収集と整理等

- ・図書資料、文献資料の収集整備。

特になし。

V. その他、本公益財団の目的を達成するために適当と認められる事業の実施。

特になし。

【研究支援・助成事業】（公2）

公募の結果、シンポジウム助成2件、研究助成2件、計4件の助成を行った。

（1）シンポジウム名

「大規模災害の市場へのインパクト：その理論と分析」

申請者 田 園（龍谷大学経済学部・准教授）

（2）研究テーマ

「アジアにおける国際分業の進展と産業構造の変化」

申請者 小林 拓磨（松山大学経済学部・准教授）

（3）研究テーマ

「旧社会主義国間にみられる女性労働の多様性：女性労働のあり方を規定する要因の比較分析」

申請者 里上 三保子（創価大学経営学部・専任講師）

（4）シンポジウム名（新型コロナウイルスの影響により、未実施。翌年度以降に延期）

「（1）Workshop on Ambiguity in Dynamic Environments

（2）Workshop on Financial Risks and Their Management」

申請者 兵庫 一也（龍谷大学経済学部・准教授）